

指定管理者評価シート

事業名	地域コミュニティ施設運営管理費	所管課(電話番号)	西区市民部地域振興課(641-6926)
-----	-----------------	-----------	----------------------

I 基本情報

1 施設の概要			
名称	札幌市はっさむ地区センター	所在地	西区発寒10条4丁目1-1
開設時期	平成6年5月23日	延床面積	1,263.50㎡
目的	地域住民のコミュニティ活動の助長及び生涯学習の普及振興を図り、もって地域住民の福祉の増進に寄与する。区民センターの機能を補完し、地域における住民の自主的な活動を促進する。		
事業概要	(1) 各種講習会、講演会等の開催、体育、各種野外活動等のレクリエーション活動の推進、 その他必要な事業を行うこと。 (2) 一般の使用に供すること。		
主要施設	ホール、洋室(2室)、和室(2室)、実習室、図書室		
2 指定管理者			
名称	札幌市はっさむ地区センター運営委員会		
指定期間	令和5年(2023年)4月1日～令和10年(2028年)3月31日		
募集方法	非公募 非公募の場合、その理由：当センターが、地域社会に関係の深い団体によって継続的に管理運営されることにより、地域住民がまちづくり活動に直接参加する機会が作られ、地域住民自らがセンターの管理運営を通して把握された地域課題の解決に取り組むことによって、地域住民間の信頼関係が築かれ、地域社会における絆の強化につながる事となる。また、まちづくり活動の担い手の育成に寄与することも期待される。このようなことから、設置目的の実現のために、地縁による団体により設立された団体及び当該設立された団体を主な構成員とする団体並びに当センター等の管理運営に関わりを持つものと市長が認める地縁による団体の推薦を受けた団体により、現に良好な管理運営が行われている場合には、継続的に管理運営を行わせるために非公募としたもの。		
指定単位	施設数：1施設 複数施設を一括指定の場合、その理由：		
業務の範囲	(1) 統括管理業務 (2) 施設・設備等の維持管理に関する業務 (3) 事業の計画及び実施に関する業務 (4) 施設の利用等に関する業務 (5) 前各号に掲げる業務に付随する業務		
3 評価単位	施設数：1施設 複数施設を一括評価の場合、その理由：		

Ⅱ 令和5年度管理業務等の検証

項 目	実施状況	指定管理者 の自己評価	所管局の評価								
1 業務の要求水準達成度											
(1)統括管理 業務	▽ 管理運営に係る基本方針の策定 ・札幌市の公の施設であることを念頭に置き、地域における各種自主活動の支援と地域住民の交流の場づくりという目的のもと、幅広い分野へ学習機会の提供、利用者の満足度の向上、地域活動の拠点として、ふれあいの場の提供を基本方針と定めた。 ▽ 平等利用に係る方針等の策定と取組実績 ①札幌市区民センター条例、規則、取扱要領等の関係法令の遵守、運用の徹底を図り、利用者には丁寧な説明を行い利用の公平・公正の確保に努めている。 ②貸室はサークル、町内会、一般企業等、幅広い団体から申し込みを受けており、申込日時が重複した時は厳正に抽選を行い決定している。 ③地域の憩いの場づくり施設活用事業(無料)ではホールや和室を利用した多くの開放事業と各種大会を開館以来実施しており、誰もが自由に参加・使用する機会となるように配慮している。 ▽ 地球温暖化対策及び環境配慮の推進 ・電気・ガス・水道の使用は併設している24時間体制の西消防署との連携を密にし節約に努めた。 ・占有部分については、節電、節水を心がけ、利用者にはゴミの持ち帰りを呼びかけ一体となって環境保全に取り組んでいる。 ・事務用品はグリーン購入法適合商品、エコマーク商品を優先して購入している。 ▽ 管理運営組織の確立(責任者の配置、組織整備、従事者の確保・配置、人材育成) ・運営委員会の指揮の下に事務局を設置し管理運営を行っている。 統括責任者の事務局長(館長)を中心とした指揮命令系統を明確にし、職員事務分掌に定めた担当業務の適正な遂行を行った。 ・緊急時対応が迅速に行えるように連絡網を作成し職員全員に周知している。 ・人材育成については、職員研修の実施と日常業務の中で常にOJTを心がけ知識、接遇の向上を図っている。 外部研修にも機会あるごとに参加している。 ▽ 管理水準の維持向上に向けた取組 ・ローテーション勤務のため、情報の共有、業務内容の徹底、見直しなど業務全般に係る事項については、口頭の他、ノートを活用し全職員が迅速に対応できる体制づくりを行っている。	・地区センターは地域コミュニティの形成を図るための地域住民の活動拠点となる施設であることを踏まえ「笑顔、親切、安全」をモットーとして「我々は地域と利用者のためにある」という認識のもと管理運営に努めてきた。 ・平等利用の意識を常に持ち業務を遂行している。 ・利用者とのコミュニケーションを大切に適正に実施できた。 ・西消防署との複合施設であるが、ロビーの節電やホール半面利用時の半面消灯を利用者の協力を得ながら行っている。 ・事業を進める上での前提となるものと認識している。責任者の配置、必要な従事者の確保、法令の遵守等に努めるほか、利用者の施設に対する好感度は接遇にあることを念頭に置き、日々の業務に取り組んでいる。 ・情報の共有化を図り利用者に迷惑をかけない体制づくりを行っている。	<table border="1"> <tr> <th>A</th><th>B</th><th>C</th><th>D</th></tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> 要求水準が満たされており、適切に管理運営されている。	A	B	C	D				
A	B	C	D								

▽ 第三者に対する委託業務等の管理(業務の適正確保、受託者への適切監督、履行確認)

- ・第三者に対する委託業務は行っていない。

▽ 札幌市及び関係機関との連絡調整(運営協議会等の開催)

開催回	協議・報告内容
第1回 (6月23日)	・利用状況 ・事業計画の状況について ・施設の整備状況について ・利用者アンケートに結果について ・報告事項その他について意見交換
第2回 (10月19日)	・改修工事の状況について ・仮事務所での状況について ・報告事項その他について意見交換
第3回 (1月18日)	・改修工事の状況について ・仮事務所での状況について ・報告事項その他について意見交換
第4回 (2月19日)	・改修工事の状況について ・新年度の事業計画(概要)について ・施設の整備状況について ・報告事項その他について意見交換

運営委員会正副会長、発寒中央体育振興会会長、利用者団体代表3名、行政(札幌市西区地域振興課課長、発寒まちづくりセンター所長、発寒北まちづくりセンター所長)、事務局

▽ 財務(資金管理、現金の適正管理)

- ・日々の収入、支出は所定の帳票を用い正確・迅速に事務処理を行い、現金の適正管理に努めた。
- ・月次では、使用している会計ソフトのデータと現金出納簿、帳票、預金通帳との精査照合等を行い資金管理を行っている。
- ・財務全般については、顧問税理士の検査、アドバイスを受け適正な管理を行っている。

・運営協議会は年4回開催している。第4回会議においては令和6年度の事業計画について議論して頂き計画に反映した。

・館長が日々、月次ともに帳簿、帳票、預金通帳と照合し処理を確認しており、適正に管理、執行している。

▽ 要望・苦情対応

- ・意見箱に記入した用紙を投入いただくか、直接の要望・苦情については対応調書に記入している。
- ・内容により西区と協議、軽易なものは館長判断として、速やかに誠意をもって対応している。
- ・経緯、結果は運営委員会、運営協議会に報告している。
- ・貸室、備品に対する要望で対応可能なものは速やかに処理している。
- ・決して独自の判断で処理せず、必ず館長へ報告し指示を受ける体制としている。

・業務分担に関わらず全員が丁寧迅速に対応するよう心掛けており、その意識は共有されるよう努めている。

	▽ 記録・モニタリング・報告・評価(記録、セルフモニタリングの実施、事業報告、札幌市の検査等への対応、自己評価の実施) ・区民講座受講者には終了時アンケートを実施している。 ・要望・意見については職員と協議し、改善や今後の企画の参考としている。 ・西区の実施検査による指摘改善事項はすぐに対応し全員に周知徹底を図っている。 ・利用者アンケートは今年度は7月～3月まで休館のため実施しなかった。	・利用者アンケートは、令和5年度は改修工事で7月から翌年3月末まで休館のため未実施。					
(2)労働関係法令遵守、雇用環境維持向上	▽ 労働関係法令遵守、雇用環境維持向上 ・常勤職員、パート職員の労働条件や職場秩序の維持等を定めた就業規則のもと関係法令の遵守に努めている。 ・人事、勤務、服務規律や育児・介護休暇等を明確に定め雇用や職場環境の維持向上を図っている。 ・パート職員に対しては最低賃金を上回る適切な時給の対応を行っている。 ・毎年、時間外労働・休日労働に関する協定届を労働基準監督署に届けしている。	・コミュニケーションを大切に、規律ある風通しの良い職場風土づくりと信頼関係の構築を図っている。	<table border="1"> <tr> <td>A</td><td>B</td><td>C</td><td>D</td></tr> </table> 労働関係法令が遵守されている。また、雇用や職場環境の維持向上にも努めている。	A	B	C	D
A	B	C	D				
(3)施設・設備等の維持管理業務	▽ 総括的事項(利用者の安全確保、市民サービス向上への配慮、連絡体制確保、保険加入) ・1階に事務室、図書室、3階に貸室がある構造のため、利用者の安全確保にはとりわけ神経を使い、こまめに館内巡回を行い危険の排除、事故防止に努めている。 ・取得物は利用者に見えるように受付窓口横で保管し落とし主に返還するようにしている。 - 現金の場合は速やかに交番に届けている。 ・損害賠償保険は仕様書に適合したものに加入している。 ・各種スポーツ大会は都度傷害保険に加入、不測の事故に備える。 ▽ 施設・設備等の維持管理(清掃、警備、保守点検、修繕、備品管理、駐車場管理、緑地管理等) ・施設が29年経過し、設備等が老朽化したため、令和5年7月から翌年3月末まで休館し保全改修工事が実施された。その間、西区発寒5条3丁目に仮事務所を設け貸室業務を除く業務を行った。 ・開館期間中、館全体に係る事案は併設の西消防署担当係と連携し対応している。 ・緊急を要することや軽微な修理・改善は職員が対応し、利用者の安全確保、経費の削減に努めた。 ▽ 防災 ・11月1日に仮事務所において、消火、通報訓練を実施した。 ・例年行っている隣接の発寒小学校が災害時に当センターへ避難する想定での全校生徒避難訓練は、休館のため中止となった。	・施設内での事故、けがはなかった。 ・施設利用者の安全確保のため、事務室に施設設備及び防犯・防災関係機関の緊急連絡網を掲示し、誰もが対応できる体制にしている。 ・施設管理上のトラブルが原因で利用に支障が生じることのないように施設・設備等を日々点検しており、破損や故障が発生した場合は速やかに対応している。 ・適正に対処している。 ・救急救命講習は職員全員が受講済み。	<table border="1"> <tr> <td>A</td><td>B</td><td>C</td><td>D</td></tr> </table> 施設・設備等が適切に維持管理されており、いずれも要求水準を満たしている。	A	B	C	D
A	B	C	D				

(4) 事業の計画・実施業務

▽ 区民講座に関する学習機会の提供業務

	5年度計画	5年度実績
講座数	4	4
回数	20	20
受講者数	80	86

講座名	回数	受講者数	理解度	満足度
らくらく健康体操1	8	22	100	100
リラックスヨガ1	5	30	100	100
ママヨガ	3	12	100	100
リズムボクシング	4	22	100	100

▽ 地域住民の交流等を目的とした事業に関する業務

	5年度計画	5年度実績
事業数	2	2
回数	9	9
受講者数	240	221

事業名	回数	参加者数		
		目標	実績	達成率
ふれあい子育てサロン	3	90	85	94%
すこやか倶楽部	6	150	136	91%

▽ 地域の憩いの場づくり施設活用事業(無料)に関する業務

事業名	実施日数	総時間	利用者数
囲碁将棋	12	42	109
バドミントン	6	15	24
バレーボール	6	15	63
卓球	6	15	15
ミニテニス	5	13	44
ミニバレーボール	5	13	12
ファミリー卓球・バドミントン	2	5	13
フロアカーリング	3	8	24
ゲートボール	3	11	34

・区民講座は9か月休館のため例年の五分の一程度しか計画・実施できなかった。計画の100%を実施し、満足度、理解度とも目標値を上回った。

・4月から6月の3か月実施。

・4月から6月の3か月実施。

A

B

C

D

休館の影響がある中、実施可能な期間において、計画どおり事業を実施できており、区民講座の受講者の満足度、理解度がいずれも100%を達成できている。

	▽ 図書室業務 <table><tr><th></th><th>①4年度実績</th><th>②5年度実績</th><th>②-①</th></tr><tr><td>開室日数</td><td>280</td><td>273</td><td>-7</td></tr><tr><td>蔵書冊数</td><td>34,618</td><td>35,246</td><td>628</td></tr><tr><td>登録者数</td><td>444</td><td>127</td><td>-317</td></tr><tr><td>貸出冊数</td><td>102,676</td><td>40,282</td><td>-62,394</td></tr></table> ・4月と6月ボランティアによる絵本・紙芝居の読み聞かせを実施。 ・4月から6月のみ時季に沿ったテーマ展示を実施した。 ・こども1日司書体験の未実施。		①4年度実績	②5年度実績	②-①	開室日数	280	273	-7	蔵書冊数	34,618	35,246	628	登録者数	444	127	-317	貸出冊数	102,676	40,282	-62,394	・4月から6月の地区センター図書室開室、7月から3月仮事務所で受付業務のみ。																																																						
	①4年度実績	②5年度実績	②-①																																																																									
開室日数	280	273	-7																																																																									
蔵書冊数	34,618	35,246	628																																																																									
登録者数	444	127	-317																																																																									
貸出冊数	102,676	40,282	-62,394																																																																									
(5)施設利用に関する業務	▽ 利用件数等 <table><tr><th colspan="2"></th><th>4年度実績</th><th>5年度計画</th><th>5年度実績</th></tr><tr><td rowspan="3">ホール</td><td>件数(件)</td><td>807</td><td>165</td><td>188</td></tr><tr><td>人数(人)</td><td>19,701</td><td></td><td>8,201</td></tr><tr><td>稼働率(%)</td><td>67.6</td><td></td><td>55.1</td></tr><tr><td rowspan="3">洋 室</td><td>件数(件)</td><td>1,507</td><td>276</td><td>333</td></tr><tr><td>人数(人)</td><td>10,683</td><td></td><td>2,405</td></tr><tr><td>稼働率(%)</td><td>70.4</td><td></td><td>62.0</td></tr><tr><td rowspan="3">和 室</td><td>件数(件)</td><td>773</td><td>159</td><td>185</td></tr><tr><td>人数(人)</td><td>4,371</td><td></td><td>967</td></tr><tr><td>稼働率(%)</td><td>36.4</td><td></td><td>34.6</td></tr><tr><td rowspan="3">実習室</td><td>件数(件)</td><td>415</td><td>33</td><td>126</td></tr><tr><td>人数(人)</td><td>3,152</td><td></td><td>1,050</td></tr><tr><td>稼働率(%)</td><td>39.1</td><td></td><td>43.5</td></tr><tr><td rowspan="3">全 体</td><td>件数(件)</td><td>3,502</td><td>633</td><td>832</td></tr><tr><td>人数(人)</td><td>37,907</td><td></td><td>12,623</td></tr><tr><td>稼働率(%)</td><td>53.3</td><td></td><td>48.8</td></tr></table> ▽ 利用促進の取組 ・利用日が重複した場合、空いている部屋を利用願うよう依頼している。 ・地区センターだよりに利用の案内を掲載、またアクセスの良さをPRしサークル上部団体の大規模な大会等にホール使用の呼びかけをしている。			4年度実績	5年度計画	5年度実績	ホール	件数(件)	807	165	188	人数(人)	19,701		8,201	稼働率(%)	67.6		55.1	洋 室	件数(件)	1,507	276	333	人数(人)	10,683		2,405	稼働率(%)	70.4		62.0	和 室	件数(件)	773	159	185	人数(人)	4,371		967	稼働率(%)	36.4		34.6	実習室	件数(件)	415	33	126	人数(人)	3,152		1,050	稼働率(%)	39.1		43.5	全 体	件数(件)	3,502	633	832	人数(人)	37,907		12,623	稼働率(%)	53.3		48.8	<table><tr><td>A</td><td>B</td><td>C</td><td>D</td></tr></table> ・5年度は、保全改修工事のため7月から翌年3月末まで休館。 ・高齢化や会員減少によるサークル団体の活動中止もあるが、新たなサークルの利用の促進を図っていく。 改修工事による休館の影響を考慮し、適切と判断する。今後、再開後の対応として、稼働率上昇に向けた取組を行っていただきたい。	A	B	C	D
		4年度実績	5年度計画	5年度実績																																																																								
ホール	件数(件)	807	165	188																																																																								
	人数(人)	19,701		8,201																																																																								
	稼働率(%)	67.6		55.1																																																																								
洋 室	件数(件)	1,507	276	333																																																																								
	人数(人)	10,683		2,405																																																																								
	稼働率(%)	70.4		62.0																																																																								
和 室	件数(件)	773	159	185																																																																								
	人数(人)	4,371		967																																																																								
	稼働率(%)	36.4		34.6																																																																								
実習室	件数(件)	415	33	126																																																																								
	人数(人)	3,152		1,050																																																																								
	稼働率(%)	39.1		43.5																																																																								
全 体	件数(件)	3,502	633	832																																																																								
	人数(人)	37,907		12,623																																																																								
	稼働率(%)	53.3		48.8																																																																								
A	B	C	D																																																																									

(6)付随業務	▽ 広報業務		A B C D
	・ホームページで施設のPR、区民講座や施設活用事業の無料開放の案内、活動サークル、貸室の利用状況、図書室新刊等を紹介している。 ・札幌市のイベント情報誌、地域のコミュニティ誌を活用し区民講座、行事等の案内を掲載。 ・「地区センターだより」を発寒、発寒北の各町内会に配布している。 ・来館者向けに区民講座、行事案内、活動サークル紹介等を館内に掲示。 ・ウェブアクセシビリティ取組確認を実施し、平成30年4月30日公開した。 ウェブサイト可能な限り多くのお客様にご利用いただけるよう、ウェブアクセシビリティの向上に努めておりレベルAA準拠に対応することを目標に取り組んでいる。 ▽ 引継ぎ業務 ・前回から継続指定のため、引継業務なし。	・センターだよりの発行や広報誌、ホームページを活用した取り組みができた。	複数の媒体を活用し、適切な広報活動を行っている。新たな手法等も含め、今後は再開後の稼働率上昇を目指した取組を検討・実施していただきたい。

2 自主事業その他								
▽ 自主事業			A	B	C	D		
・自主事業は実施していない。 ▽ 市内企業等の活用、福祉施策への配慮等 ・当センターで使用する印刷物は(パンフレット、使用承認申込書)は全て西区内の社会福祉法人に発注している。 ・物品の調達、地場企業支援のためにも調達が難しい物を除き市内中小業事業者より購入している。 ・運営委員会でを行う小規模修繕は可能な限り地元発寒地区の業者に依頼した。 ・北海道盲導犬協会「ミーナの募金箱」を設置している。		・市内、地域内の事業者への発注を中心としている。 今後も継続して取り組んでいきたい。	市内企業の利用及び福祉施策の取組に努めている。					
▽ 利用者アンケートの結果(令和5年度は休館のため未実施)					A	B	C	D
実施方法					令和5年度は休館のため未実施である。令和6年度より再開していただきたい。			
結果概要								
利用者からの意見・要望とその対応								

▽ 収支

(千円)

項目	R5年度計画	R5年度決算	差(決算-計画)
収入	24,865	24,721	▲ 144
指定管理業務収入	24,865	24,721	▲ 144
指定管理費	20,400	20,400	0
利用料金	1,500	1,501	1
その他	2,965	2,820	▲ 145
自主事業収入	0	0	0
支出	26,211	25,159	▲ 1,052
指定管理業務支出	26,211	25,159	▲ 1,052
自主事業支出	0	0	0
収入-支出	▲ 1,346	▲ 438	908
自主事業による利益還元	0	0	0
法人税等	0	0	0
純利益	▲ 1,346	▲ 438	908

【参考】	R5年度決算	内容
指定管理業務による利益還元	0	下記のとおり

▽ 説明

【収入】

・収入は計画とほぼ同じ1,501千円で計画どおりであった。

【支出】

・9か月休館中のため経費の圧縮に努めたが、仮事務所移転のため修繕費、備品費の計上となった。

【指定管理業務による利益還元】

・仮事務所移転関連の支出のみで利用者のための利益還元は行わなかった。

休館のため利用料金が大幅に減収し、単年度収支が赤字となった。

・また、仮事務移転で関連で経費あり、利益還元は行うことができなかった。

休館に伴う影響を考慮したうえで、収支について概ね計画どおりとなっている。

・今後とも経費削減と貸室の利用率を高めるべく利用促進を心掛け、生み出した財源を備品の修繕・購入などで利用者への還元に充てていきたい。

<確認項目> ※評価項目ではありません。			
▽ 安定経営能力の維持 ・当運営委員会の財務状況は安定した利用料、講座収入に加え経費の削減実施により経営・運営は順調に推移しており、今後も経営意識の向上を図り安定経営の維持を図っていく。 ・開館から29年が過ぎ施設、設備の経年劣化が見られ、利用者からの要望も含め利益還元の一環として修繕、交換を積極的に実施して高い評価を得ている。		適	不適
▽ 個人情報保護条例、情報公開条例、行政手続条例、オンブズマン条例及び暴力団の排除の推進に関する条例への対応 ・個人情報保護 貸室の使用承認申込書、講座受講申込書等の個人情報は鍵のかかるキャビネットに収納し適正に保管管理している。 問い合わせ等に関しても慎重に対応している。 ・情報公開請求、行政手続条例、オンブズマン条例の調査はなかった。 ・暴力団の排除の推進に関する条例に基づき、利することとならないよう注意し取り組んでいる。 物品調達等についても暴力団や暴力団関係事業所と契約はない。		適	不適

Ⅲ 総合評価

【指定管理者の自己評価】	
総合評価	来年度以降の重点取組事項
・令和5年度の4月～6月は、貸室業務・図書室業務ともコロナウイルス前の利用水準に戻り、無料開放事業もコロナウイルス前の全種目を再開することが出来、順調な滑り出しではあった。しかし、7月～翌3月末の期間は保全改修工事のため9か月間休館を余儀なくされ、仮事務所で図書室の予約本の受渡業務しか行えなかった。 また、古くからの利用サークルの数団体が、休館を契機として解散するものがあり、また休館中に他館を利用した結果当地区センターに戻ってこない団体など、再開後の地区センター運営の不安要因ともなった。	・9か月間の休館による利用者離れの減少を食い止めるため、従来利用を規制した音、振動の大きい種目を緩和して利用促進を図る。 ・地区センターだより、札幌市のイベント情報誌や地域ミニコミ誌等のあらゆる媒体を使い区民講座等の事業活動を積極的にPRし、地域へ一層の周知と利用の増加を図っていく。 ・利用者のニーズを把握した講座や地域交流事業の充実を図り、多くの方に利用いただけるようサービス向上に努めていく。 ・公共交通機関の利便性をPRし、新規利用者を取り込み、貸室の利用率の向上を目指していく。 ・図書業務は西区の中では貸出冊数、登録者数が多く、地域のたくさんの方に利用されており、今後もあらゆる媒体を使い登録者、利用者の増加を図っていく。 ・利用者アンケートを実施し貴重なご意見を今後の業務運営に反映させていく。 ・施設は平成6年5月の開設から29年が経過し、設備、備品に老朽化が見られ、利用者の意見も取り入れながら来年度も剰余金から利用者還元を積極的に行い施設の充実を行っていく。
【所管局の評価】	
総合評価	改善指導・指示事項
休館に伴う影響が大きい中、各項目の要求水準を満たしていると判断する。今後は新たな企画の採用や事業の見直し等も検討しながら、再開後の稼働率の回復と、更なる上昇のために取組を実施していただきたい。	